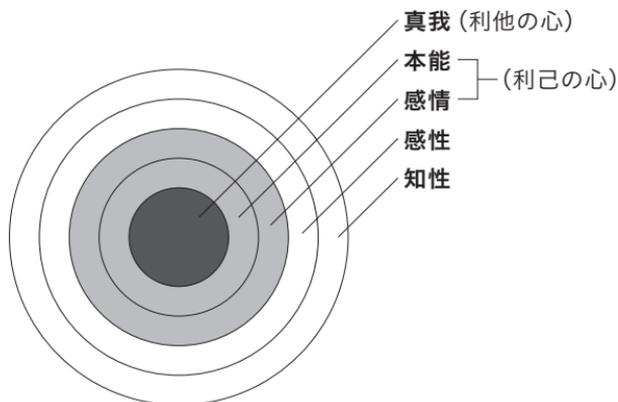


| 08 | 心の多重構造



出典：盛和塾での稲盛和夫氏の投影資料より筆者作成

たとえば、「誰かに人前で怒られた」という事実があったときに

「ただ、感情的にむかつく」

「他の人に見られて恥ずかしい」

「確かに自分が反省しないといけない部分がある」といった、複雑な心の動きが発生します。そして認識の範囲の判断基準のような力が働き、どの心の動きをメインに反応するのかを決めていくのが人間の心です。

つまり、自分の心を俯瞰し、今の自分の心はどの部分で動いているのかを常に俯瞰して把握することが必要なのです。

GCストーリーでは、自身の心の動きを把握することを教えたうえで、入社後には次のようなプ